

Free School
since 2004
in Osaka

フリースクールみなも
Mina-mo

通信

2015年5月:第17号

■遅咲きの桜

みなもが始まって11年。子どもの人数も30名を越え、それに伴い、毎年のように卒業生が出るのが当たり前になってきました。

とはいえ、今年の中3生・高3生は少なく、卒業生は1名だけ。その彼は20歳の年齢上限を迎えての卒業となります。

いや、実は彼は、すでに昨年大学生になっていて、今もしっかり大学には通っているのですが、何しろみなもに来たのが高校生の途中ぐらいだったため、まだちょっとはっちゃけ足りなかったのと、大学のレポート作成のサポートと、あとは大学生活でちゃんと馴染めるか不安だったこともあり、もう1年残留していたのです。

その彼も今年、晴れて卒業を迎えました。1年の助走期間を経て、この4月からは本格的に独り立ちでしょうか。

とはいえ、みなもの学習塾部門「個別指導塾みなも」には引き続き通い続け、レポートの作成を一緒に学んでいくほか、別件で2週に1度くらいはりじちよ〜と会う機会があるので、意外と卒業って感じもしないわけですが…☆

そういえば、彼以外にももう一人、すでに専門学校に行っていますが、そのサポートのために引き続きみなもに通っている子がいますね。(彼は今年が最終年。) そういった卒業後の「アフターケア」というのも、ひょっとしたらフリースクールの役割の

一つなのかもしれませんね。



↑卒業パーティーの様子

ともあれ、卒業おめでとうございます！ 引き続き大学生活を楽しむのぢゃ☆バ(-.-

…そして次回予告っ……。2016年3月は、多くの卒業生が旅立つことでしょう！ (今川)

■「冬の星を見に行こう」ツアー紀行

2015年2月22日～23日

「冬の星を見に行きたい！」と、ある子どもが熱烈提案。京都府の山間部に、星がキレイに見えて、お泊りできて、釣りやバーベキューも楽しめる場所があるってことで、希望者も4～5名集まり、ミーティングがスタート。

場所は京都府綴喜(つづき)郡の「大正池グリーンパーク」。めっちゃ寒そうだし、道路も凍結しそうだけど、大丈夫？ 雨が降っても行く？ いろいろな問題をクリアしながら、そこでやりたいアイデアが次々にまとまり、2月22

日(日)～23日(月)の1泊旅行となりました。 どうか「花よりだんご」で、りじちよー今川提案の「くんせい作り」や、釣り、バーベキュー、そしてお泊りでワイワイ遊ぶのが楽しみ。そのために必要な道具を書き出すと、まるで「民族大移動」な装備となります。

あいにく当日は、くもり時々雨……星の観察は危ういですが、念のため大きな望遠鏡も積んで、9時半ごろ出発！ 結局参加メンバーは、子ども6名にスタッフ3名、ボランティアSさんの車とレンタカーのワゴン車に分乗です。



出発後約 40 分、今福鶴見のイズミヤで、お肉・魚介類・野菜・タレなどどっさり購入。国道1号線沿いにドライブを続け、枚方市あたりで右折し、やがて京田辺市を横断すると、古き良きニッポンの里山風景が広がります。40分程度に1度はコンビニ休憩を入れつつ時計を見ると、もう午後1時前・・・「あっ、釣りは4時までやったわ、急がなきゃ」と、釣り組はダッシュでお先に「大正池溪流魚センター」へ。残りは現地近くのそば屋でランチ後、綴喜郡井手町の山間部へ入っていきました。

「大正池グリーンパーク」、ログハウスのバンガローに到着。目の前に大正池が広がって、ぐるっと向こう側まで散歩道になっています。雨が一時やんでいたのでも、散歩組が戻ってきたら、いよいよ「食べること」の準備。りじちよーがダンボールの底に桜のチップを敷き、その上に網を2段に固定し、バラ肉など食材を乗せ、やがてくんせいのけむりが立ち始めます。キッチンでは3種類のカレーを作

る準備、そしてメインはバーベキュー。バンガローの敷地内に作られたバーベキューコーナーは結構広いスペースで、大きな屋根がついているので、ぼちぼち雨が降ってきたけど大丈夫。ん？ なにやら煙が……ゴホゴホ……と思ったら、りじちよーのくんせい箱は、残念ながら炎に包まれてしまいました。段ボールが小さかったのと、火が少々強かったようで…。豚肉はだめになってしまったけど、チーズといかは残っていたのでTAKE2！ そうしてできたチーズは絶品！！バ(≧▽≦ 豚肉のベーコンは、また次回再挑戦ということで。 (文：くらら)



(以下、次号に続きます)

■みなも防災活動

●みなも防災会議

地震・火災・台風・外出イベント時の交通事故・急病など、「災害」にはさまざまなものがあります。それらの自然・人的災害に「みなも」が法人としてどう備え、どう対処するのかについて、定期的に防災会議をひらいています。

「どんな災害があるか」「みなもに足りない備え」「定期的に行ったほうが良い防災訓練は？」etcetc、課題は山積みです。「災害対策へのリスクマネジメントは法人としての義務。スタッフがまず作業を始めよう」「利用者にも大きく関わることだ。利用者と一緒に作っていったほうが良い」「災害はいつ起こるかわからない、とにかく早急に作業すべき」……さまざまな意見があがりましたが、最終

的には「利用者や保護者の方々と防災について一緒に考えていく叩き台として、まずはスタッフがみなもの基礎方針を固めたマニュアルを作ろう」という結論に。

まずは「地震・津波」「火事」「交通事故」「台風」に焦点を絞り、担当を分けました。各担当が骨子案を作る → 会議にて全員が回覧、合意を取る → ひとつにまとめてマニュアル化……という作業手順です。

災害対策はハウツー本も多いため、必要な情報はすぐに集まるだろうと予想していたのですが……。

●防災マニュアル骨子案作成

筆者は「地震・津波」対策チームでしたが、作業は難航しました。とにかく作業量が多かったのです。

調べるべき事項は大きく「事前の備え」「当日の動き」「災害後」の3つに分かれ、事前対策の中でも「備蓄」「環境整備(家具配置など)」「連絡体制」「避難所・帰宅支援所確認」「熟すべき訓練は何か」等に細分化されます。更に、備蓄ひとつとっても「どのくらいの量を準備するか」「備蓄をどこに保存するか」といった問題がたくさん。人命に関わる事柄ゆえ、ひとつひとつの問題が疎かにできません。消防庁や農林水産省HPの防災対策ページ・対策本や被災者エッセイ・各種企業がどんな取り組みを行っているかなどを参考に、みなもの規模や立地条件、スタッフ人数・利用者の性質などを考慮に入れ、現実的に可能かつ理想に近いラインを探り、「みなもでは、どんな対応を行うべきか」を決めてゆきました。(余談ですが、骨子案を作成する際、特に参考になったのは被災者の方のエッセイでした。非日常の緊張状態で、どんな不安に襲われるのか・実際にどんな行動ならべできるのか・どんなサポートが欲しいか……個人の心身に焦点をあてて描かれた書籍やブログは、「みなも利用者のサポート」を考える上で、非常にためになりました)

担当スタッフが作成した骨子案は、防災会議にて適宜、修正を加えている最中です。各スタッフが理

想とする防災の在り方もそれぞれなため、会議はいつも白熱しています。

●みなも災害対応マニュアル

鋭意作成中のマニュアルを下敷きに、「災害時、利用者に行って欲しいこと、把握しておいてほしいこと」のみを、先んじて『みなも災害対応マニュアル』としてまとめました。

事前に読んで災害に備えることはもちろん、有事にとっさにひらけるよう、携帯できるA6サイズのコンパクトな冊子です。日本社会福祉弘済会さまから、2014年度助成を頂いて作成しました。

みなも通信と共に同封してあります。御覧頂き、利用者の方はぜひ携帯して頂ければと思います。

(裏面に氏名・連絡先を書く欄があります。もしも事故に遭ったとき、氏名と連絡先があれば、周囲にいる人達や救急隊員の方々が御家庭やみなもに連絡してくれます。もちろん記入は任意ですが、できる限り、記入して携帯をお願いします)

●防災対策のこれから

『みなも災害対応マニュアル』を、利用者と一緒に防災訓練を行ったり一緒に防災について考える切り口として活用していきます。利用者の意見を取り入れたり、専門家に読んで頂いたりして、より良いマニュアルへと版上げしてゆくつもりです。

法人としての全体マニュアルは、完成後、保護者説明会を開催予定です。

「防災」は恒常的に行うもの。これからも、意識をもって取り組んでゆきます。(南郷)

➤ ・賛助会員・カンパのお願い

当法人は、何らかの事情により学校に通うことでできない不登校の子どもたちでも安心して過ごせる社会の実現のため、日々活動しております。

しかし、本来教育とは公の支援なしにできるものではありません。例えば私立の学校などでも、生徒保護者からの学費の他、私学助成を受けることで成り立っています。ですが私どもフリースクールの場合、公の支援制度がないことから、そうした子どもたちに学校と同程度の教育を用意することが非常に困難となっております。

そうした中、子どもたちの保護者様からの月謝や多くのボランティアの方々に支えられながら運営を続けておりますが、やはり財政的に不安定な状態が続いていることは避けられません。

つきましては、もし当団体の活動やその意義に賛同いただける際には、ぜひとも皆様のご寄付を賜りたく存じます。子どもたちの活動をより充実させるため、何卒皆様のお力をお貸し下さい。

■ご寄付の方法

郵便局に備え付けの「郵便振替 払込取扱票」より、以下の振替口座にお振り込みください。その際、備考欄に以下の必要事項をご記入下さい。

口座記号番号：00960-0-204146

加入者名：フリースクールみなも

備考欄：氏名・ご住所・電話番号・(E-Mail アドレス)・
寄付の種類・口数（賛助会員の場合）をご記入
下さい。

寄付の種類

賛助会費…年度更新により、毎年定期的にご寄付いただく会員。一口3,000円で、任意の口数。

寄付金…1回限りの寄付。任意の金額。

➤ ・ボランティア募集中！

フリースクールみなもではボランティアを募集しています！ 現在、子ども達と一緒に過ごしていただけるボランティアの他、特に理系の数Ⅲ数学が教えられる方また英会話が教えられるボランティアさんが不足しております。興味のある方はメールでフリースクールみなも（fs-minamo@nifty.com）宛てに、もしくはフリースクールみなものファックスにご連絡下さい。

➤ ・「親カフェ」のご案内

フリースクールみなもでは、原則毎月第4土曜に「親カフェ」（不登校の子を持つ親の会）を開いています。「親カフェ」は、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目指した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにも参加していただけます。参加をご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

【概要】 日時：毎月第4土曜日の14:00～17:00

場所：フリースクールみなも、参加費：500円（茶菓子代として）、アドバイザー：中尾安余さん（みかんさん＝結空間代表）、担当スタッフ：中村有美

『フリースクールみなも通信』第17号

発行日：2015年5月12日（本号4頁）

発行者：特定非営利活動法人フリースクールみなも
（理事長・今川将征）編集担当：松浦 豊

○特定非営利活動法人 フリースクールみなも
（2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

会員（利用者）：28名（2015年5月現在）

代表：今川将征（理事長）

スタッフ：常勤4名、非常勤4名、ボランティア数名

オープン日：2004年11月1日

住所：〒530-0044 大阪市北区東天満1-4-3

（地下鉄「南森町」駅から徒歩7分、JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩5分）

電話・FAX：06-6881-0803

対象年齢：6歳～18歳

活動時間：月曜日から金曜日の11時～20時

入会説明会：随時（体験入会は無料、4週間）